



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



師走に入り寒さが一段と厳しくなってきました。

[2013/12/21 発行 編集担当 石津 勝]

さて今号では、`13 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀、第2回実技講習会「染織/ ニードルフェルト」、そして先月初旬に出かけました「研修旅行/瀬戸内国際芸術祭 小豆島・豊島を巡る旅」のご報告を中心にお届け致します。

`13 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀を開催しました。

本年度より、旧来の「アーティスト イン レジデンス」と「風と土のかたち」展を統合し、そして新たに「風と土のアート フェア」を加え、名称も`13 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀と改め、総合的な芸術祭として矢持地区市民センターを会場に開催しました。運営組織も本法人の単独開催から、四季の森「やもち」ゆめ倶楽部、種生区活性化計画推進委員会、NPO 法人 Arts Planet Plan from IGA、NPO 法人 博要の丘、ふるさとづくり上高尾の会、メナード青山リゾート、諸木元気な地域づくり推進委員会、やもちクラブ、矢持地区区長会の9団体からなる『風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀 実行委員会』を新たに立ち上げ、その主催での開催となりました。実質の運営主管は本法人と四季の森「やもち」ゆめ倶楽部でしたが、様々な局面でそれぞれの組織のできる範囲でのご協力を得てのアートイベントとなりました。今年は実行委員会設立そのものが成果でしたが、次年度からは、各参加団体のより積極的なご協力を期待したいと願っています。

展覧会2日目夕刻から生憎の台風が伊賀地域に襲来し、3日目は急遽休館になりましたが、期間中300名を超える来場者があり、新たなアートイベントとしては盛況のうちに閉幕を迎えました。これに先立ち、京都在住の内山泰義氏を参加作家に迎え、四季の森「やもち」ゆめ倶楽部の澤田さんのご自宅に滞在し矢持地区市民センターを制作会場にして公開制作する、アーティスト イン レジデンスを3年ぶりに開催しました。内山氏の作品は木製のプロペラとヤジロベエを組み合わせた自然の風を利用する動く彫刻です。出来上がった作品は四季の森「やもち」ゆめ倶楽部のブルーベリー畑に30機ほどが設置されています。自然の景観と溶け合った親しまれる彫刻となっており、ブルーベリー狩りなどの機会に訪れる来訪者の目を楽しませてくれるそうです。また、今後も毎年、メンテナンスを兼ねて伊賀に来て頂けると伺っています。

今後も、このような地元の素材や自然環境を活用する作家の方が、地域の方々との交流を深めながらアーティスト イン レジデンス参加作家として活動して頂ければ、レジデンスも少しずつでも伊賀地域にも根付いていくのではないかと考えています。

(実行委員長 森田 耕太郎)



グラウンドの大きな彫刻

「風と土のかたち展」は、台風により1日閉館して6日間の会期でしたが、グラウンドには大きな彫刻作品が登場し、教室、和室、美術室、音楽室も使用して、出品者59名(組)、作品数90余点の大規模な展覧会を開催することができました。

忌憚のない講評を行う作者自身のギャラリートークや、交流を深めるオープニングパーティなど、愉しく充実したひと時も過ごせました。

アートフェア開催日の9/22(日)は、約140名の記帳者があり、プログラム内容の充実が来館者を増やすことになると確信しました。来館された方も、未だ来られてない方も、来年、矢持でお会いしましょう!

(風と土のかたち展担当 石津 勝)



初日に行われた
ギャラリートーク



アートフェアでの
餅つきイベント

思いおこせば、昨年の`12「風と土のかたち」展で新たな試みとして、地元矢持、霧生地域で生産収穫された野菜・果物や手作り食品の販売等の参加がありました。それを受けて、今年は「`13 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀」のイベントの中、一日だけですが「風と土のアートフェア」として開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、地元外(風)の方々と地元(土)の方々が一体となってお参加して下さり、大きなトラブルもなく無事に終える事ができ、とても有意義な日となりました。初めての試みとして実行委員会の仕組みを導入し地元の方々との協力の元、運営をおこないました。まだまだ、手探りな状態が続きますが、来年も地元の方々との相互協力のもと、もっとおもしろい、楽しい「風と土のアートフェア」にしていきたいと思えます。

(風と土のアートフェア担当 村瀬 浩)

当日の
会場風景



13「研修旅行」に行ってきました。

11月2日(土)～3日(日)の日程で、瀬戸内国際芸術祭が開催されている島々の内、小豆島・豊島を巡る旅を7名の参加で行いました。一日目の小豆島では、島に向かう船の中でヤノベケンジのジャンボとらやんに出迎えられながら、石津さんの安全運転で島内を巡りました。時間の制約はありましたが、見学したい会場をしばらく楽しいひと時を過ごすことができました。二日目は本来行く予定であった犬島に船便の定員の関係で渡航できないというアクシデントに見舞われましたが、豊島美術館に代表される豊島のアートをゆっくりと鑑賞することができました。

宿泊地の小豆島シーサイドホテル松風では、名産のオリーブや新鮮な海の幸に舌鼓を打ちながら旅の疲れを癒しました。

短い時間ではありましたが、三年に一度開かれる芸術祭を間近で見学し、新たな発見や制作意欲を得ることのできる旅となりました。



小豆島・土庄港にて参加者の皆様と
(作品：『太陽の贈り物』 崔正化)

第2回実技講習会「ニードルフルト」を終えて。



制作風景と担当の作品



11月16日(土)、久田 多恵氏(京都造形芸術大学美術工芸学科染織テキスタイルコース・准教授)を講師にお迎えして、「ニードルフルト」を教えていただきました。

11年振りのフェルト講習会ですが、今回は水を使わず羊毛をフェルティングニードルでチクチクと刺し固めてフェルト化し、想像した動物や植物など、オリジナルの立体造形物をつくることができました。

どうしても夢中になると指を針で突いてしまうこともありましたが、絆創膏を貼って気を取り直して、2個、3個とつくる方もいらっしゃいました。今回は参加者が全員で9名とちょっと少なめでしたが、皆、満足して作品を持って帰られました。

次回はもう少し大きなものをつくってみたいものです。

(第2回実技講習会担当：石津 勝)

台風被害へのカンパのお願いです。

13風と土のふれあい芸術祭in伊賀の二日目深夜に伊賀地域を襲った台風により、濁流がアトリエ裏山の井戸の揚水用ポンプまで浸かる水位となりました。ポンプの電源部が浸水により漏電し、アトリエ自体も停電となりローソク生活を余儀なくされました。展覧会期間中でしたので、急遽ポンプの取替えをしましたが、20万円弱の思わぬ高額の出費となりました。

そこで、アトリエをご利用される方々始め、皆様方にカンパのご協力をお願い致します。金額は一口幾らでも結構です。本法人の郵便預金口座への振込でポンプ代と明記して頂ければありがたいです。多数の方々のご厚志をお待ちしております。

(問合せ先：森田 耕太郎・田井 佳子)

穴窯焼成が近づいて来ました！

穴窯焼成の作品の持ち込み日は、来年3月8日(土)・9日(日)となっています。ご予約ください。宅配便ご利用の方も、両日必着です。また、穴窯の修繕など、窯詰め・窯焚きの準備も行います。多くの方々のご参加・ご協力を、よろしくお願ひします。なお、ご自宅で作成される方も多いと思いますが、1月19日(日)、2月16日(日)は、作陶会を行っています。どうぞ、ご参加ください。

(粘土カフェ担当 田上 早百合)

会費納入のお願い・皆さまのご意見お待ちしております。

●「展覧会情報」のページに会員の皆様の個展・グループ展等の活動情報を載せますので、事務局まで、是非お知らせください。

ホームページアドレス：<http://www.appfi.org> 事務局Eメール：contact@appfi.org

● 本法人は、皆様方からご納入頂きました会費で運営されております。常々、ご協力ありがとうございます。

未だ入金されていない方は早めの納入にご協力をお願いします。

郵便口座：00890-1-106346 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ

「ゆうちょ銀行」で直接お振り込みいただく場合には、すでに送付済みの振込用紙をご使用いただくか、上記の口座にお振り込みをお願いします。

また、「ゆうちょ銀行」へ他の金融機関より振り込みができるようになりましたので、その場合は下記の口座にお振り込みください。

よろしくお願ひします。(ゆうちょ口座からの送金は手数料不要です)

ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 089 店名 ○八九店(ゼロハチキユウ店)

当座 0106346 アーツプラネットプランフロームイガ